

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日

上場会社名	株式会社あさくま	上場取引所	東
コード番号	7678	URL	http://www.asakuma.co.jp/
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)横田 優	
問合せ先責任者	(役職名)取締役管理部長	(氏名)西尾 すみ子	(TEL) 052(800)7781
四半期報告書提出予定日	2020年11月11日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,150	△32.7	△408	—	△387	—	△515	—
2020年3月期第2四半期	4,678	—	275	—	287	—	174	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △515百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 174百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△96.42	—
2020年3月期第2四半期	34.84	34.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,162	3,322	64.4
2020年3月期	5,063	3,896	76.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,322百万円 2020年3月期 3,896百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	5.00	15.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,071	△20.1	△406	—	△380	—	△713	—	△133.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	5,374,720株	2020年3月期	5,344,820株
2021年3月期2Q	26,400株	2020年3月期	—
2021年3月期2Q	5,343,370株	2020年3月期2Q	5,006,567株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会の開催を見送ることとしました。後日、決算説明資料を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により景況感は急激に悪化しており、外出自粛や緊急事態宣言に伴う営業自粛要請、訪日外国人の激減等により、雇用や所得環境に深刻な影響をもたらしております。

外食産業におきましては、2020年4月の緊急事態宣言を受けて、全国的に休業や営業時間短縮を余儀なくされ、不要不急の外出を控える動きや新しい生活スタイルの定着等、5月の宣言解除後も来店客数が増えず、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループといたしましては、「お客様に食を通じて感動を提案するエンターテインメントレストラン」という不変的な考えのもと、ステーキハウスとしての品質とお値打ち感のある商品を提供してまいりました。新型コロナウイルス感染拡大防止策として、サラダバー用に専用トングのご用意や飛沫防止用の透明フィルムの設置、従業員のマスク着用やアルコール消毒薬の設置等安全対策を講じて営業を続けてまいりましたが、当社直営店で18店舗、連結子会社である株式会社あさくまサクセッションで7店舗、連結子会社である株式会社竹若で7店舗、計32店舗において一時的に休業しておりました。7月以降回復の兆しが見えたものの8月に入り第2波の懸念もあり、お盆シーズンの人の動きが少なく、当社においても例年の大人数での来店を見込んでおりましたが、売上高は伸び悩んでおります。

当第2四半期連結累計期間における店舗展開につきましては、当社のFC店で1店舗、株式会社あさくまサクセッションで2店舗、株式会社竹若で1店舗の退店があったため、当第2四半期連結会計期間末現在における当社の店舗数は、直営店は63店舗のままで、FC店5店舗を加えて68店舗、株式会社あさくまサクセッションの直営店は16店舗、株式会社竹若の直営店は12店舗となり、当社グループの総店舗数は96店舗（FC店5店舗を含む）となっております。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高が3,150,427千円（前年同四半期比32.7%減）、営業損失が408,728千円（前年同四半期は営業利益275,455千円）、経常損失が387,936千円（前年同四半期は経常利益287,992千円）、また特別損失に株式会社あさくまサクセッションにて6店舗分の減損損失117,051千円を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失が515,185千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益174,426千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて386,911千円増加し、2,567,522千円となりました。主な要因は現金及び預金で333,934千円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて287,501千円減少し、2,595,331千円となりました。主な要因は有形固定資産で223,211千円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて99,409千円増加し、5,162,853千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて308,326千円増加し、1,191,428千円となりました。主な要因は短期借入金で300,000千円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて364,745千円増加し、648,791千円となりました。主な要因は長期借入金で399,770千円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて673,071千円増加し、1,840,219千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて573,661千円減少し、3,322,634千円となりました。主な要因は利益剰余金で541,909千円減少したことによります。

この結果、自己資本比率は64.4%（前連結会計年度末は76.9%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は2,124,482千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は337,057千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失535,096千円、減価償却費107,279千円、減損損失を117,051千円計上したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、得られた資金は45,434千円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入56,515千円を計上したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は680,857千円となりました。これは主に、短期借入れによる収入330,000千円及び長期借入れによる収入460,000千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により先行きが不透明な状態が続く中で、適正かつ合理的な算出が困難なため、引き続き未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報等を踏まえ、業績予想をいたしましたので、公表いたします。

新型コロナウイルス感染症は経済活動に深刻な影響を与えており、当社グループにおいても上半期に営業損失を計上するに至りましたが、10月から本格的に始まったG o t o キャンペーンにより人の動きが徐々に活発化し、前年を上回る日も出てまいり、今後回復に向かうと考えております。下半期につきましては、当社においては、サービス・商品品質・店舗レベルの向上に更に務め、新型コロナウイルス感染症が何年続いても生き永らえていく経営をしてまいります。連結子会社の株式会社あさくまサクセッションにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響により収支が悪化した店舗を中心に退店を進めてまいります。連結子会社の株式会社竹若においては、高級和食という今までの当社グループにない業態を将来のために育ててまいります。一方で、新業種・新業態の開発は行わず、現状のスタイルをしっかりと守ってまいります。

これらにより、当社グループの2021年3月期の下半期の連結業績予想といたしましては、営業黒字、経常黒字を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルス感染症の第3波の懸念もあり、今後の進展等により、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,790,548	2,124,482
売掛金	232,806	226,173
原材料及び貯蔵品	61,586	46,978
その他	97,014	170,537
貸倒引当金	△1,345	△650
流動資産合計	2,180,610	2,567,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,078,019	897,272
その他(純額)	422,150	379,687
有形固定資産合計	1,500,170	1,276,959
無形固定資産		
のれん	522,237	492,375
その他	10,048	35,995
無形固定資産合計	532,285	528,370
投資その他の資産		
差入保証金	726,014	658,176
その他	126,697	134,160
貸倒引当金	△2,335	△2,335
投資その他の資産合計	850,376	790,001
固定資産合計	2,882,832	2,595,331
資産合計	5,063,443	5,162,853

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	385,070	401,312
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	—	50,030
未払法人税等	2,516	36,244
賞与引当金	21,000	20,644
株主優待引当金	10,953	7,032
その他	463,561	376,164
流動負債合計	883,101	1,191,428
固定負債		
長期借入金	—	399,770
資産除去債務	110,851	102,137
その他	173,195	146,883
固定負債合計	284,046	648,791
負債合計	1,167,148	1,840,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	857,550	861,335
資本剰余金	934,621	938,407
利益剰余金	2,104,123	1,562,214
自己株式	—	△39,322
株主資本合計	3,896,295	3,322,634
純資産合計	3,896,295	3,322,634
負債純資産合計	5,063,443	5,162,853

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	4,678,713	3,150,427
売上原価	1,855,901	1,299,721
売上総利益	2,822,811	1,850,706
販売費及び一般管理費	2,547,355	2,259,434
営業利益又は営業損失(△)	275,455	△408,728
営業外収益		
受取利息及び配当金	91	750
賞与引当金戻入	—	7,328
その他	14,071	18,370
営業外収益合計	14,163	26,449
営業外費用		
支払利息	1	1,269
和解金	1,000	—
リース料	—	2,602
その他	625	1,787
営業外費用合計	1,626	5,658
経常利益又は経常損失(△)	287,992	△387,936
特別利益		
補助金収入	—	37,557
投資有価証券売却益	5,999	—
その他	—	7,743
特別利益合計	5,999	45,301
特別損失		
店舗休止損失	—	37,170
固定資産売却損	—	16,373
減損損失	—	117,051
その他	1,846	21,865
特別損失合計	1,846	192,461
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	292,146	△535,096
法人税、住民税及び事業税	112,196	22,017
法人税等調整額	5,523	△41,928
法人税等合計	117,720	△19,911
四半期純利益又は四半期純損失(△)	174,426	△515,185
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	174,426	△515,185

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	174,426	△515,185
四半期包括利益	174,426	△515,185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,426	△515,185

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	292,146	△535,096
減価償却費	77,874	107,279
減損損失	—	117,051
のれん償却額	8,669	26,937
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,547	△355
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△150	△695
受取利息及び受取配当金	△91	△750
支払利息	1	1,269
店舗閉鎖損失	1,846	18,279
固定資産除売却損益(△は益)	—	16,373
売上債権の増減額(△は増加)	72,673	6,633
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16,481	14,607
仕入債務の増減額(△は減少)	△71,742	16,241
投資有価証券売却損益(△は益)	△5,999	113
未払消費税等の増減額(△は減少)	△14,285	△25,853
その他	△77,989	△118,826
小計	268,019	△356,789
利息及び配当金の受取額	91	750
利息の支払額	△1	△1,269
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△85,728	20,250
営業活動によるキャッシュ・フロー	182,381	△337,057
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	56,515
有形固定資産の取得による支出	△148,615	△19,791
有形固定資産の売却による収入	—	4,000
短期貸付金の回収による収入	—	3,000
建設協力金の支払による支出	△51,469	—
投資有価証券の売却による収入	6,000	16,487
無形固定資産の取得による支出	△1,000	△27,500
差入保証金の差入による支出	△45,068	△5,792
差入保証金の回収による収入	1,039	31,632
預り保証金の返還による支出	△4,500	△7,200
預り保証金の受入による収入	1,500	3,000
その他	1,910	△8,917
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240,203	45,434
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	330,000
短期借入金の返済による支出	—	△30,000
長期借入れによる収入	—	460,000
長期借入金の返済による支出	—	△10,200
株式の発行による収入	672,750	7,571
自己株式の取得による支出	—	△39,322
配当金の支払額	—	△26,656
リース債務の返済による支出	△2,672	△10,535
財務活動によるキャッシュ・フロー	670,077	680,857
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	612,255	389,234
現金及び現金同等物の期首残高	2,328,255	1,735,248
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,940,511	2,124,482

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、飲食事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。